サザかしりつあたごしょうがっこう 鈴鹿市立愛宕小学校 こう ちょう あさい かずよ 校 長 浅井 和代 PTA会長 木下 麻三子

きけん よそう ばあい とうげこう 危険が予想される場合の登下校について

大地震や台風・大雨・雷等が起こったとき、お子様の身の安全を守るためには、保護者とがっこう れんけい きんきゅうたいおう ひっよう 学校が連携した緊急対応が必要です。そこで、台風や地震など登校時に危険な事態が予想されるとき、事故防止のため以下の内容を基準に判断をお願いします。ただし、あくまでも基本的な判断ですので、緊急の場合は各ご家庭で適切な判断をお願いします。

たいふう じなど ばぁい 台風時等の場合

- しぎょうまえ ぼうふうけいほう ぼうふうせつけいぼう たいふうせっきん ともな おおあめけいほう とくべつけいほう はつれい ばあい 1 始業前に暴風警報(暴風雪警報)・台風接近に伴う大雨警報・特別警報が発令された場合
 - ①午前7時に暴風警報 (暴風雪警報)・台風接近に伴う大雨警報・特別警報が発令されている場合,午前11時まで自宅待機となり給食は実施しません。
 - ②午前11時までに暴風警報 (暴風雪警報)・台風接近に伴う大雨警報・特別警報が解除された場合,ご家庭で昼食をすませ、当日の授業の用意を全部持って、午後1時までに参校させてください。

- ③午前11 世 げんざい ひきっづきぼうふうけいほう ぼうふうせつけいほう たいふうせっきん ともな おおあめけいぼう とくべつけいぼう (3午前11時現在、引き続き暴風警報 (暴風雪警報)・台風接近に伴う大雨警報・特別警報 が発令されている場合は、当日の授業は中止します。
- 2 始業後に暴風警報(暴風雪警報)・台風接近に伴う大雨警報・特別警報が発令された場合
 - ①直ちに授業を中止し、通学路の安全や気象状況を確認の上、教職員引率のもと でできます。 かくにん うえ きょうしょくいんいんそつ でもと でできます。 かくにん うえ きょうしょくいんいんそつ できしょう 下校させます。
 - つうがくろ きけん ばあい じどう あんぜん げこうほうほう かくにん がっこう たいき ②通学路が危険な場合は、児童の安全な下校方法が確認されるまで学校に待機させます。
 - ③下校することが危険と判断し、児童を学校に待機させた場合は、メール配信等で保護者に連絡を取り、各教室にて直接引き渡しをすることもあります。
 - ④以上の対応について、メール配信により連絡します。
- 3 **暴風警報(暴風雪警報)・台風接近に伴う大雨警報・特別警報の何れも発表されていな**いが、風水雪害等の発生の恐れがある場合

かいじょご ばあい たいふう ともな おおあめけいほう こうずいけいほう おおゆきけいほう かみなりけいほう ふく (解除後の場合や台風を伴わない大雨警報,洪水警報,大雪警報, 雷警報を含む。)

① 通学路の安全や気象状況を確認してから、登校するようにお願いします。市内一斉 がっこう きゅうこうとう そ ち あるいは学校で休校等の措置をとる時は、文書またはメールで連絡いたします。

PTA地区委員さんは、大雨、河川の増水、道路の冠水、大雪、 雷 等で、登校が危険と判断した場合は、直ちに学校へ連絡を取り、該当地区は登校を見合わせてください。

②始業後に、大雨、河川の増水、道路の冠水、大雪、 雷 等で下校することが危険と判断 した場合は、上記の2に 準 じます。

- ※緊急下校になった場合、留守になるご家庭はどのように自宅に入るか、お子様と ひころ 日頃からご相談ください。
- ※学童保育や放課後デイサービス等を利用されている場合は、暴風警報(暴風雪 はいばらい。 はあい 集風警報(暴風警報)・ 会園接近に伴う大雨警報・特別警報の場合の対応について、学童保育や 放課後デイサービス等にご確認ください。

^{おおじしん ばあい} 大地震の場合

1 始業前に大地震が発生した場合

①通学路や学校施設の安全が確認されるまでは、登校は見合わせ、自宅等の安全な場所で 待機させてください。

PTA地区委員さんが、付近の様子から登校が危険と判断した場合は、値ちに学校へれたらく 連絡をとり、該当地区は登校を見合わせてください。

②通学路の安全が確認され、授業が可能な場合は、メールで連絡しますので、余裕を持って登校させてください。給食が実施できない場合は、併せて連絡させていただきます。

2 始業後に大地震が発生した場合

①保護者への引き渡しとします。地震によりメール配信が通じない場合も、引き渡しと はんだん 判断してください。 ②災害発生時には学校の電話が緊急用となり、通じなくなることが考えられます。また、メール配信も機能しなくなる場合もあると思われます。その際には、各家庭や地区の判断で対応してください。

※災害発生時には、一人一人の判断が大切です。各ご家庭でも、どこに避難するか、 どこで待ち合わせるか等について、必ず話し合っておいてください。